

行政減量・効率化有識者会議説明資料(抄)
(独立行政法人雇用・能力開発機構)

平成20年5月21日

厚生労働省

私のしごと館のあり方検討会

○「独立行政法人整理合理化計画」(平成19年12月24日閣議決定)(抄)

雇用・能力開発機構(私のしごと館について)

組織の見直し

【組織体制の抜本的見直し】

○ 私のしごと館については、運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。

○私のしごと館のあり方検討会

1 趣旨

私のしごと館(以下「しごと館」という。)については、「独立行政法人整理合理化計画」(平成19年12月24日閣議決定)において、「運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。」ことが求められている。

このため、有識者からなる「私のしごと館のあり方検討会」(以下「検討会」という。)を開催する。

2 検討事項

- (1) しごと館の包括的民間委託に関する事
- (2) しごと館の包括的民間委託の外部評価に関する事
- (3) 上記(2)を踏まえたしごと館の存廃を含めた在り方に関する事

3 構成

- (1) 検討会は、別添の有識者により構成する。
- (2) 職業能力開発局長は、有識者の中から、検討会の座長、座長代理を依頼する。
- (3) 検討会には、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

私のしごと館のあり方検討会 構成員

座長	石原 俊介	ムデイス・ジャパン ストラクチャード ファイナンス マネジング ディレクター
	鹿嶋 敬	実践女子大学人間社会学部教授（元日経論説委員）
	加藤 丈夫	富士電機ホールディングス相談役
	加藤 裕治	全日本自動車産業労働組合総連合会会長
	工藤 啓	NPO法人「育て上げ」ネット理事長
	長南 祐志	東京都調布市立第六中学校長
	橋本 浩樹	王子製紙株式会社取締役業務執行役員・人事本部長兼務
	マイア・フィン	ドイツ経済新聞ハンデルスブラット特派員
座長代理	前島 富雄	埼玉県高等学校長協会会長・県立浦和高校長
	牧野 明次	岩谷産業株式会社社長
	宮本みち子	放送大学教養学部教授
	森永 卓郎	獨協大学経済学部教授
	山口 学	エム・エス・コンサルティング代表取締役
	吉永みち子	作家

（五十音順 敬称略）

私のしごと館のあり方検討会の取りまとめ

「私のしごと館のあり方検討会」の3回の議論、委員のしごと館及びキッズニアの視察を踏まえ、包括的民間委託に当たっての視点・考え方を以下のとおり取りまとめた。

1 民間事業者の裁量の範囲について

「しごと館」の委託に当たり、職業キャリア教育の中核をなす職業体験事業については必須とする一方、民間事業者の創意工夫に委ねる観点から、それ以外の事業については、広範な裁量に委ねる。

2 収支について

検討会の御議論では、収支の大幅な改善が必要であることや、職業キャリア教育施策としての職業体験とそれ以外とで分けて考えるべきとの方向性が出ていたことを踏まえ、本とりまとめでは、5年後目途のあるべき姿として収支率5割を目指すこととする。

なお、その考え方は、次のとおり。

- ・ 職業キャリア教育施策としての職業体験事業については、政策として幅広く学生・生徒の利用を図るため、料金を低廉に抑えると、料金を差し引いても、6億円程度の財政援助が必要。
- ・ 他方、職業体験事業以外のしごと館自体の運営については、運営に必要な人件費、事務所経費、間接部門の経費を含め、6～7億円程度の経費を要する。しかしながら、これらの経費については、企業からの収入を中心に、民の創意工夫の発揮により、自前調達を目指すことも可能。

以上をまとめると、「収支率5割」の水準となる。

なお、5年後の姿については、別紙のとおり。

3 委託期間について

委託期間については、年末で廃止もあり得ることを前提に6ヶ月というような短期の設定をすることについては、民間が引き受けることは不可能として検討会では強い反発があり、3年とすることが大半の委員の意見であった。

他方、行政改革上の要請を踏まえる必要があることから、委託期間については、2年とする。

4 関係機関等のバックアップについて

包括的民間委託移行後も、しごと館事業が厚生労働省の施策に基づく事業であることは変わらないので、従来から行ってきた厚生労働省、雇用・能力開発機構、経済団体、教育界等によるバックアップを行う。

5 評価について

本年末においては、収支改善に向けた問題点・課題及び職業キャリア教育としての効果を高める上での問題点・課題について分析を行っているか、あるいは、行おうとしているかなど、委託期間終了時の目標を展望した着実な努力を実施しているかをチェックした上で、その結果をもとに存廃を含めた在り方を検討する。

委託後においても、本年末のほか、1年後、2年後と段階を踏んで評価をし、その結果をもとに、存廃を含めた在り方を検討する。

私のしごと館の5年後の姿

- 5年後は、次のとおり施策としての体験事業と館自体の運営を別事業として区別することにより、館のあり方を明確にし、効果的な運営を行う道を考える必要がある。
- 私のしごと館事業の収支のあり方考えるに当たっては、職業キャリア教育施策である職業体験事業とそれ以外の事業に分けて考えることが必要。
- 前者の職業体験事業については、基本的にコストのかかる事業であり、かつ、職業キャリア教育政策として、低所得者層の子弟を含め、広く生徒・学生の利用を図るため、料金を低廉に抑える必要から、政策面から国の財政的援助(6億円程度)が必要となる。
- 他方、「私のしごと館」自体の運営については、それに係る人件費、事務費、間接部門の経費(約6億円)も含め、基本的に自前で収支均衡を図り、運営することが可能である。
- これまでは、「私のしごと館」のこうした両面が混在した形で交付金の中で運営されてきたために、「赤字垂れ流し」との非難がある一方で、キャリア教育施策としての必要性も強調されてきた。
したがって、今後、そのあり方については、こうした「私のしごと館」の性格を踏まえると、次のように、政策的な面と自前で行う面を分別し別事業としたうえで、それぞれ評価することによって、そのあり方を明確にすることができる。
- ① 施策としてのキャリア教育(職業体験事業)
 - ・ この事業については、上記のとおり、施策として実施するため、収支均衡を図ることは性格上なじまないため、他の施策(例えば、インターンシップ奨励施策)と同様、委託費など国からの財政支援のもとに行う。
- ② しごと館自体の運営
 - ・ しごと館自体の運営については、運営に必要な人件費、事務所経費、間接部門の経費を含め、6～7億円程度の経費を要する。しかしながらこれらの経費については、スポンサーシップの確立等を通じ、企業からの収入を中心に自前で調達すべき経費であり、収支均衡を目指し、民の創意工夫を発揮すべきである。
- 以上のとおり、しごと館事業のうち、施策的事业としごと館の運営を明確に区分し、別個の事業として組み立て、政策効果や収支目標を明らかにすることが、しごと館運営の適正化につながると思われる。

「私のしごと館」の概要

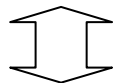
若者を中心に職業意識の効率的かつ効果的な形成等を図るため、**様々な職業体験機会、体系的な職業情報及び相談等をワンストップで提供。** (京都府関西文化学術研究都市)

展示・体験事業

関係業界団体等の協力を得ながら、

- ①「職業人として必要な意識・心構え」の理解
- ②「ものづくり」や「サービス」等約40職種の実体験
- ③プロの職業人による実演・実技の見聞、挑戦の機会を提供

機械工作の仕事の体験風景



職業適性検査・職業情報の提供、キャリア・コンサルティングの実施、セミナーの開催等

利用状況

- 平成15年3月の開館以降、平成20年3月までの生徒・学生を中心とした各事業サービス利用者延べ数 : 約241万人
- 平成20年3月末時点の来館予約(平成22年3月まで)は約16万人。

個々人の適性に
応じた進路・職業
選択等の実現

「私のしごと館」の収支の状況

(平成18年度収支状況)

	支出(千円)	収入(千円)
職業体験事業	595,517 (指導員謝金、設備保守費、 体験材料費等)	55,903(体験料)
上記以外	319,093	2,746
展示事業	126,976(人材派遣経費等)	1,313(企画展入場料)
相談・援助/ ライブラリー事業	189,115(機器保守、機器リース費 嘱託謝金等)	1,059(映像ソフト等販売料)
研修・セミナー事業	3,002(講師謝金等)	374(研修セミナー料)
共通	698,566(職員人件費、 館内保守費、光熱費等)	78,012(入館料63,227, 駐車場利用料6,610, 企業広告・法人会員料3,075等)
計	1,613,178	136,662

「私のしごと館のあり方検討会—今後のスケジュール（予定）」

平成20年 3月（第1回） 私のしごと館の概要説明、論点提示

平成20年 3月（第2回） 委託の視点・考え方について

（※ 現地視察・ヒアリング実施）

平成20年 4月（第3回） 委託の視点・考え方について

3ヶ月程度

入札公告（約1ヶ月）

審査（約2週間）

引き継ぎ期間（約1か月強）

民間委託開始予定

平成20年末まで（第4回）

委託先からのヒアリング・実施状況評価

（第5回）

報告取りまとめ